



2019・2・1

第 329 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

多面的に改憲世論づくりへ安倍政権・自民党

“草の根”の対決が焦点に

安倍首相は通常国会の施政方針演説の「おわりに」の部分で、「憲法は、国の理想を語るもの、次の時代への道しるべであります。私たちの子や孫の世代のために、日本をどのような国にしていくのか。大きな歴史の転換点にあたって、この国の未来をしっかりと示していく。国会の憲法審査会の場において、各党の議論が深められることを期待いたします」とあらためて国会における改憲論議をよびかけました。

自民党は2月10日に開く党大会に提出する運動方針案前文で「わが党は憲法改正を党是とした保守政党だ。時代の転換点に立つ今、改めて国民世論を呼び覚まし、新しい時代に即した憲法の改正に向けて党の道筋をつける覚悟である」としています。

いずれも独立した項目ではなく、昨年のもものからの“後退”が指摘されています。

しかしこれは国民の強い反対にあって改憲案の論議すら封じ込められたため改憲への執念の“後退”ではありません。一方で、自民党憲法改正推進本部事務局は各小選挙区支部ごとに設置するとしている「憲

法改正推進本部」がまだ設置されていない支部にその設置を促す通達を出したり、新たに週1回党のインターネット番組「カフェスタ」を通じて党改憲案のポイント解説をながしたり、党大会後には講演会を開く広報活動など、“草の根”の世論づくりを多面的にすすめようとしています。

3000万署名など、こうした動きを封ずる活動がますます重要になっています。

署名目標必ず達成へ、交流

【新潟県／市民アクション】新潟県内のすべての地域と職場で3000万人署名の総達成を目指して、「安倍改憲NO！全国市民アクション@新潟」は26日、「全県学習交流集会」を開き、200人が参加しました。

同会呼びかけ人の中村洋二郎弁護士が主催者あいさつで、「今年は日本の針路がかかった正念場の年。3000万人署名の主戦場は地域だ。一人ひとりが声を上げることで安倍暴走政治を終わらせることができる。頑張ろう」と呼びかけました。

全県から6人の地域代表が取り組みを報告。新潟市秋葉区の板橋育夫さんは、平和

団体を軸にさまざまな団体に呼びかけ、署名が1万8千人分集まり、選挙でも全勝してきたことを報告しました。魚沼市の須田光則さんは、公民館長や医師、書道家、福祉施設の園長など多彩な人に呼びかけ人になってもらって署名を推進し、1万人の署名目標を達成したことを報告しました。

また、糸魚川市の山下勝さんは、地域ローラーで、対話をしながら「うちは自民党だけど協力するよ」という人や、若い人が「改憲はいいと思っていたけど、安倍さんのもとでは良くないね」と署名に応じた例を紹介し同市で5300人分を集めたことを紹介しました。

九条の会事務局長の小森陽一さんが講演。全国では毎週同じ場所で署名活動をする中で、一度署名した人が、署名を集めて持って来るようになっていくと紹介。「今年は圧倒的にチャンス。署名の担い手を思いきって広げ、3000万人を集めきって、連続する選挙で勝利しよう」と呼びかけました。

安倍退陣訴え各地で19日行動

【青森県／青森市・八戸市九条の会】安倍内閣による憲法違反の戦争法が強行採決されたことに抗議する今年初の19日行動が、青森市と八戸市で取り組まれました。

八戸市では、「戦争法廃止を求める三八連絡会」が呼びかけた「戦争法廃止・安倍9条改憲NO！スタンディング」行動に、寒風の中34人が参加しました。

「アベ政治は許さない」「憲法9条を守れ」と書いたポスターを掲げ、リレートークで市民へアピールしました。

内田弘志代表委員は、9条に自衛隊を明

記することの危険さを説き「平成の時代の良さは戦争がなかったこと。平和を守ろう。憲法を守ろう」と市民に呼びかけました。

青森市では、県九条の会が駅前公園でスタンディング行動をしました。体温を奪う冷たい風が吹くなか、「安倍改憲NO」「憲法守れ」のポスターを掲げ、安倍9条改憲阻止、安倍政権下でのねつ造や疑惑の徹底追及、安倍内閣退陣を要求しました。

「平和が一番、安倍は危険」の声

【福井県／総がかりアクション】戦争する国づくり反対！福井総がかりアクションが福井市のJR福井駅西口でスタンディングに取り組み、「安倍政権ノーの声を福井から上げていこう」とアピールしました。

屋敷紘一代表は、安倍政権がねらう9条改憲に対し、「自衛隊を書き込めば、不戦の誓いの9条がないがしろにされる」と批判。

訴えを聴いていた鯖江市の男性(80)は、「私も戦争体験しているから、平和が一番。安倍さんは危険だ」と話しました。

「県民のつどい」で運動を交流

【和歌山県／九条の会・わかやま】19日、県民文化会館で「危ないぞ！みんなで止めよう安倍改憲 1・19和歌山県民のつどい」が開催され、県下から900人が参加しました。

開会前には約3年間の県内の9条を守る活動の姿が映写されました。

第1部は、「芸人9条の会」の桂文福師匠（紀の川市出身）が相撲甚句、河内音頭、9条新作落語を披露しました。文福師匠は、「最も大事な憲法とかけて、何となく、か

つての西鉄ライオンズの聖地ととく、その心は『平和第九条』などと笑わせながら、「日本には絶対九条が必要」と訴えました。

第2部の講演では、慶応大学名誉教授の小林節氏が、特定秘密保護法、戦争法、共謀罪、労働法制改悪問題など、安倍政権による憲法破壊が進んでいる。安倍改憲の本命は、「必要な自衛を行う自衛隊を保持する」と9条に加憲し、専守防衛、海外派兵の禁止の9条2項を否定し、米軍の2軍化を図るものだと批判しました。

第3部は、龍絃会の津軽三味線演奏と、この日のために結成された和歌山ピースバンドが「イマジン」「日本国憲法の歌」など4曲を演奏しました。

その後、子ども、パパ、ママたちがステージに上がり、「あの青い空のように」を歌いました。（「九条の会・わかやま」366）

参院選で改憲の動きにとどめを

【東京荒川区／千住九条の会】 20日、千住九条の会は「止めよう改憲発議！市民と野党の共闘で新しい政治を！」を開催、103名が参加しました。

最初にミニライブとして舞踊劇団イワオーレの風刺劇の上演。フラメンコギター、歌、ダンサーが、現代人の本を読まなくなった風潮を風刺し熱演しました。

その後、高田健さんと菱山南帆子さん、黒岩哲彦弁護士のトークセッション。

高田さんは、国会内外でのたたかいが臨時国会での自民党改憲案の「提示」を阻止したが、安倍首相は改憲への意欲を燃やしている。3分の2を持っている今、発議したいと必死だが、国民投票で勝つ見込みが

なければ発議できない。もし参院選で改憲派が現有の3分の2議席を失ったら発議は不可能になる。市民と野党が結束してたたかい、安倍政権を打倒しましょうと訴え。

菱山さんは、選挙に勝つには、野党共闘を実現する市民の力にかかっている。街頭宣伝などで紙芝居をしたり、歌ったり沖繩風街宣など工夫し皆で楽しくやっていると集まってくれる。戸別訪問で90才のおじいさんとの爆笑エピソードなど日々の行動に裏付けされたお話をされました。

最後に高田さん。「闘いなくして改憲発議は阻止できないし、闘えば発議を阻止できる。皆さん共にごんばりましょう」と訴え。

勝負の年にふさわしい希望と展望の見える集会となりました。（千住九条の会・中田順子）

一言発言で会員が提案と決意

【札幌市北区／あいの里9条の会】 あいの里9条の会は、11日夜、15人の会員が集まり、毎年恒例の新年会を開きました。

昨年の活動を報告し、署名行動スタンディングフリマ13回など1年間の活動を確認。今年も引き続き、「安倍改憲NO！発議阻止」の活動を「悔いの無いように精いっぱいやっていきましょう」と決意を固めました。

一言発言では、口々に「安倍政権はひどすぎる」「正確に人に話せて心に響くように学習しなければ」「署名行動の場所や時間をあちこち変えて広めては」などなどの提案、決意がだされ、「去年の公約の署名100はプラス40で達成しました」の報告に大きな拍手がおこりました。

戸別訪問に寄せられた「声」

【東京都練馬区／ねりま九条の会】 27日
練馬区大泉町1丁目を3人で戸別訪問、安倍9条改憲NO署名を訴えて歩きました。

「大泉町9条の会です、憲法9条を守る団体です。安倍首相が憲法変えて自衛隊を明記し、アメリカ軍の一部として世界中の戦争に参加させ、自衛隊を殺し殺されるようにする。兵器を爆買いし軍拡を進める、そんなことに反対する署名です、ご協力いただけませんか」と声をかけて歩きました。

結果は訪問件数43軒、留守が9軒、安倍支持2軒、署名せずが22軒、署名9軒14筆、おいていってください1軒。

署名しなかった理由、取り込んでいる、よくわからない、自分のことで頭いっぱい、立憲民主党の議員が親せきで署名すると迷惑がかかるかもしれない、睡眠を邪魔されて迷惑、などでした。署名をした方は「安倍政治はひどい、何もできないが署名くらいならできる。」「9条の会員です」、自民党の看板を出している家でも署名して下さった、「自衛隊は米軍の下で行動する、日本は独立国でなくなる、自衛隊が殺し殺されることになる」ということに、それではとまったようです。

初めての試みでしたが、今後の会の活動で協力していただける新しい発見でした。傾向としては、若いお母さんがしてくださる。若い男性は断る、年よりは半分くらいはしてくださるようです。大変勉強になりました。(ねりま九条の会・大柳武彦)

スタンディングに参加して

初めてスタンディングに参加しました。

雨の中、傘をさして、「安倍政治を許さない」のポスターを掲げて。

政治への疑問・不満のはけ口として、家族や友人との話題に出しては愚痴っていました。しかしいつも、これでは何も変わらないという無力感だけが残りました。

そこで「言うは易く行うは難し」の「行う」を実践するしかないと決め、カラフルなプラカードを自作してピーススタンディングへの参加を、続けています。

活動場所としている本厚木駅北口広場では、仲間たちが幟や思い思いのプラカードを掲げ、署名用紙を持って活動しています。初めの頃は顔を出すのが恥ずかしく、通行する方たちにどのように声かけすれば署名していただけるのかを考えてしまいました。忙しく速足で行き交う人、話をしながら行き過ぎる人…。なかなか署名はいただけませんでした。

でも時には、まっすぐにこちらへ近寄ってきて力強く署名をしてくださり、「頑張ってください」と励まされたりもします。丁寧にお礼を伝えて、感謝します。こんな時は本当に嬉しい心持ちになります。それでも30分間のスタンディングが終わってみて、一人からでも署名をいただけた日は上出来です。

うーん挫折感あるなー。でも気付きました。こうやってポスターを掲げて同じ志の仲間と平和を心から願って行動している「存在そのもの」が、政治への参加であり、政治への関心を促していくことになるのだと。これからも存在を続けていきます。粘り強く諦めず、平凡ですが「継続は力なり」を心に秘めて。

(北川和麿「あつぎ・九条の会」1月号)